

山口大学卒後臨床研修 ガイドブック

世界に
通ずる良医、
優れた研究者を
育てる！

臨床研修の理念

山口から世界に羽ばたけ !!

医療・医学分野を牽引する未来のリーダーとなる医師を育成する

臨床研修の目標

プライマリ・ケアから専門医療までの幅広い経験を通じて、
豊かな人間性を涵養し、以下の能力を身につけた医師を育成します

- 1 医師としてのプロフェッショナリズム
- 2 医師としての基本的な知識・技能と医学・医療問題への対応能力
- 3 総合的に診療する実践力とチーム医療における安全管理能力
- 4 国際的視野と地域社会への医療貢献
- 5 患者家族や他の医療従事者とのコミュニケーション能力とチーム医療の実践力
- 6 論理的思考力と研究マインド
- 7 生涯にわたって自己研鑽し共に学ぶ姿勢

大学病院？

市中病院？

山口大学なら両方で研修できます！

山口大学の卒後臨床研修は最大52週(12ヶ月)院外研修が可能です。
大学病院の先進的医療の経験と地域の医療機関での診療の両方をバランス良く経験することで、
実力を持った臨床医に成長できます。

大学病院での研修

難易度の高い症例を深く学べます

各専門領域に経験豊富な指導医がいる
治療方針の立て方を学べる
プレゼンテーションスキルがアップできる
先端医療や研究に展開できる
視野の広い臨床推論を学べる

市中病院での研修

一般的な疾患を多く学べます

common diseaseを数多く経験できる
手技を実践的に学べる
1次救急を学べる
24の協力病院から選択できる

専門研修にスムーズに移行できます！



山口大学卒後臨床研修プログラムの特徴

1

自分に最適な
オリジナルの研修
プログラムが作れます。

- 将来のキャリアを見据え、各自の希望に合わせたオーダーメイドカリキュラムを作成できます。
- 県内の主要な病院と連携しているので、一般診療から専門性の高い診療まで、多様な研修に対応できます。
- 複数の協力病院を組み合わせ、幅広い研修をコーディネートできます。

2

協力病院との
たすき掛け研修で
バランスよく学べます。

- 大学病院では難治症例を、協力病院ではcommon diseaseをバランスよく経験できます。
- 1次救急から3次救急まで対応できる力がつきます。
- 大学病院では一つ一つの症例を丁寧にみることで、病気の本質を学べます。

3

熱心な指導医による
きめ細かい研修指導が
受けられます。

- 170名以上の教育熱心な指導医がいます。
- 毎月、専任教員が研修の進捗度をチェックして、アドバイスします。
- 学会をはじめ、CPC(臨床病理検討会)など発表の機会が豊富にあるので、プレゼン力が身につきます。

4

研修医向けレクチャーや
カンファレンスが
行われています。

- 研修開始時に基本手技の習得のためのトレーニングを行います。
- 毎週、各分野のエキスパートが研修医のためにレクチャーを行っています。
- 症例検討カンファレンスで、偏りのない標準的な診断や治療方針決定までのプロセスなどを学べます。

5

充実した研修が
受けられる環境が
整備されています。

- 研修医のための専用施設、地域医療教育研修センター(白翔館)に安い費用で入居できます。
- 多数の医学系オンラインジャーナルを常時閲覧でき、最新の医学情報を収集しやすい環境です。
- 様々なシミュレーターが設置されている、クリニカルスキルアップセンターを利用できます。

自分の研修は自分で決める！

ローテーションの自由度が魅力です

POINT
1

自分の成長と希望進路に合わせた研修プランを1年ごとに作ります。

POINT
2

院内研修での診療科の変更は、1ヶ月前まで可能です。

POINT
3

最大52週(12ヶ月)、協力型臨床研修病院でのたすき掛け研修が可能です。

研修スケジュールをどのように設定するかは、思うがまま！

研修期間2年＝104週をどのように設定するか？ 組み合わせは自由です。

これらは必須！ 8科・分野(計56週以上)

内科	救急	地域医療	外科	小児科	産科 婦人科	精神科	外来
24週	12週	4週	4週	4週	4週	4週	4週

1. 将来の希望科を選ぶ

例えば小児科で全て設定することも可能

2. いろいろな科を回る

外科・放射線・麻酔・病理…あらゆる科を回ることも可能

3. 協力病院で研修する

プライマリ・ケアを学ぶなど協力病院での研修に活用も可能

				選択科目	44週(最大48週)				
--	--	--	--	------	------------	--	--	--	--

2年間の臨床研修は 必修科 選択科 から構成されます。

必修科	● 内科*	24週	● 小児科	4週以上	選択科	● 皮膚科	● 放射線治療科
	● 救急(麻酔科4週含む)**	12週	● 産科婦人科	4週以上		● 眼科	● 病理診断科
	● 地域医療	4週以上	● 精神科	4週以上		● 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	
	● 外科**	4週以上	● 外来研修	4週以上		● 放射線科	

を含む全ての診療科

* 内科：第一内科(消化管内科、肝臓内科、胆道膵臓内科)、第二内科(循環器内科、腎臓・高血圧内科、膠原病・感染症内科)、第三内科(血液内科、糖尿病・内分泌内科)、脳神経内科、呼吸器・感染症内科、総合診療部

** 外科：第一外科(心臓外科、血管外科、呼吸器外科、小児外科、消化管外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌腺外科)、第二外科(消化管外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌腺外科)、整形外科、形成外科、泌尿器科、脳神経外科

*** 救急：麻酔科4週間を含むことが可能

＜原則＞

- 必修科の地域医療は2年目に研修すること
- 2年間のうち、52週(12ヶ月)以上を山口大学医学部附属病院で研修すること(例：本院48週、地域医療4週、協力病院52週)
※地域医療研修(4～8週)は山口大学医学部附属病院の研修期間となります。
- 内科(必修科及び選択科)の期間の内訳については、8週以上、複数科での組み合わせも可能です。
- 必修科を含む全ての研修は4週間を1区切りとし、8週間以上の研修が可能です。

外来研修について

一般外来研修では、指導医のもと研修医が診察医として適切な臨床推論プロセスを経て臨床問題を解決できるように研修を行います。
研修方法は外来研修を毎日終日行うブロック研修と、診療科等をローテーションしながら行う並行研修があり、4週の経験が必修となっています。研修施設や期間については希望に合わせて自由にコーディネートできます。

ブロック研修例 臨床教育センターや総合診療部、協力施設等で研修します。

1年目	内科 24週	救急 12週	外科 4週	小児科 4週	産科婦人科 4週	精神科 4週
2年目	選択科 4週	地域医療 4週	外来 4週	選択科 40週		

並行研修例 地域医療研修と並行して外来研修をします。臨床教育センターや協力施設等での並行研修も可能です。

1年目	内科 24週	救急 12週	外科 4週	小児科 4週	産科婦人科 4週	精神科 4週
2年目	選択科 8週	地域医療 8週 外来	選択科 36週			

臨床教育センターでの研修

詳しくはこちら
<http://cec.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/>





“プライマリ・ケア研修に適したフィールド”で
“大学教員による質の高い指導”を。

臨床教育センターは、大学病院では経験する機会の少ないプライマリ・ケアや1・2次救急症例をより幅広く、より豊富に研修できるように、本院からほど近い宇部中央病院に開設されました。
ここでは、大学教員を中心とした教育熱心な指導医からエビデンスに基づいた知識や高度な技術を吸収することができます。
研修を終えた時には、レベルの高い診療能力が身についていることを実感できるはずです。

山口大学医学部附属病院臨床教育センターの特徴

- 1 大学教員のもとでのプライマリ・ケア研修
- センター専任教員を始め、宇部中央病院の指導医や専攻医と一緒にチームの一員として一般内科や総合診療科、救急外来診療、病棟診療を行います。
 - 市中病院では日常診療が多忙で、症例の振り返りが疎かになりがちですが、ここでは熱心な指導医からしっかりとフィードバックを受けることができます。
 - 指導医との距離も近く、ふとした疑問もすぐに質問し、解決することができます。
- 2 プライマリ・ケアのフィールドでの外来研修
- 外来研修では生活習慣病や気管支喘息、COPDなどのcommon diseaseの診療ができます。
 - 発熱、腹痛、痺れなどの主要な症状をもった患者さんの初診外来を指導医と一緒に診察し、フィードバックをもらえる環境が整っています。
- 3 充実した教育環境・整備された学習空間
- センターには山口大学のLAN設備が整備され、また研修医向けの医学書や参考書が数多く揃えられ、知りたいこと、学びたいことをすぐに調べることができます。
 - 電子カルテだけでなく学習用大型モニター、共用テーブル、個人用デスク、リラックス出来るソファ等が設置され、一人での学習はもちろん、グループ学習や勉強会でも活用できます。



山口大学卒後臨床研修プログラム

希望進路別推奨コース例

大学病院だからできる
自由度の高いローテートで
自分の目標に向かってスキルアップしよう！



全方向型自由設計コース

診療科の種類・期間を希望に合わせて設計できます。

自由度が高く、自分の進路に合わせた専門的な研修をメインにすることも、複数の診療科を数多く選択することもできます。

必修科 選択科

内科医を目指す方のモデルコース

1 年目	内科A 8週	内科B 8週	内科C 8週	救急 12週	産科婦人科 4週	外科 4週	小児科 4週	精神科 4週
2 年目	内科D 8週	地域医療 4週	外来 4週	総合診療部 8週	放射線科 4週	内科E 8週	内科A 16週	

- 全ての内科系診療科を経験することで、内科医に必要な考え方、診断法、治療方針の立て方を学び、基礎を固めます。
- 総合診療部では臨床教育センターで1・2次救急から専門性の高い疾患まで幅広く学びます。
- 内科診療に必要な画像読影、精神疾患、総合的対応能力、基本的外科処置、小児疾患対応を学びます。
- 内科専門医や内科系サブスペシャリティ専門医の資格取得のための準備をしながら学んでいきます。

外科医を目指す方のモデルコース

1 年目	内科A 8週	内科B 8週	内科C 8週	外科 8週	産科婦人科 4週	救急 12週	小児科 4週
2 年目	精神科 4週	地域医療 4週	外来 4週	麻酔科 12週	外科 28週		

- 内科系診療科を経験することで、病態の理解を深め、外科医にも必要な考え方、診断法、治療方針の立て方を学びます。
- 術前・術後の管理を含めた外科診療に必要な精神科領域の対応の仕方を学びます。
- 麻酔の知識を持った上で専門科へ進むことで、よりスムーズな理解、研修が可能です。

・内科： 第一内科（消化器内科、肝臓内科、胆道膵臓内科）、第二内科（循環器内科、腎臓・高血圧内科、膠原病・感染症内科）、第三内科（血液内科、糖尿病・内分泌内科）、脳神経内科、呼吸器・感染症内科、総合診療部
・外科： 第一外科（心臓外科、血管外科、呼吸器外科、小児外科、消化管外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌腺外科）、第二外科（消化管外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌腺外科）、整形外科、形成外科、泌尿器科、脳神経外科
・救急研修は麻酔科4週間を含むことが可能。

小児科・産科婦人科・周産期コース

将来、小児科や産科婦人科を希望する人が対象です。32週以上を小児科又は産科婦人科で研修します（両方合わせて研修も可能）。

専門性の高い研修により、小児科・産科婦人科領域のキャリアを早く開始できます。

※必修科は、全方向型自由設計コースと同じです。

小児科医を目指す方のモデルコース

1 年目	内科A 8週	内科B 8週	救急 12週	内科C 8週	精神科 4週	外科 4週	小児科 8週
2 年目	小児科 4週	地域医療 4週	外来 4週	産科婦人科 4週	小児科 36週		

- 本コースを通じて、小児救急をはじめ、様々な専門領域の小児科疾患を経験できます。
- 将来、新生児集中治療を希望する方は、必修科に加えて選択科で産婦人科を選択するのも良いでしょう。
- 子供の成長・発達を理解し、子供と家族に対する基本的態度、適切な臨床技能を身につけます。

産婦人科医を目指す方のモデルコース

1 年目	産科婦人科 12週	内科A 8週	内科B 8週	内科C 8週	救急 12週	外科 4週
2 年目	小児科 12週	地域医療 4週	外来 4週	精神科 4週	産科婦人科 28週	

- 産婦人科医に求められる技能は周産期、婦人科腫瘍、生殖・内分泌、女性のヘルスケア（更年期やウロギネコロジー領域を含む婦人科プライマリ・ケア）の4領域にわたります。
- 本コースでは、これらの領域の基礎的診療技術を研修早期から学べるよう計画を立てます。
- 小児科研修ではNICU研修も含まれます。

・内科： 第一内科（消化器内科、肝臓内科、胆道膵臓内科）、第二内科（循環器内科、腎臓・高血圧内科、膠原病・感染症内科）、第三内科（血液内科、糖尿病・内分泌内科）、脳神経内科、呼吸器・感染症内科、総合診療部
・外科： 第一外科（心臓外科、血管外科、呼吸器外科、小児外科、消化管外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌腺外科）、第二外科（消化管外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌腺外科）、整形外科、形成外科、泌尿器科、脳神経外科
・救急研修は麻酔科4週間を含むことが可能。

協力型臨床研修病院

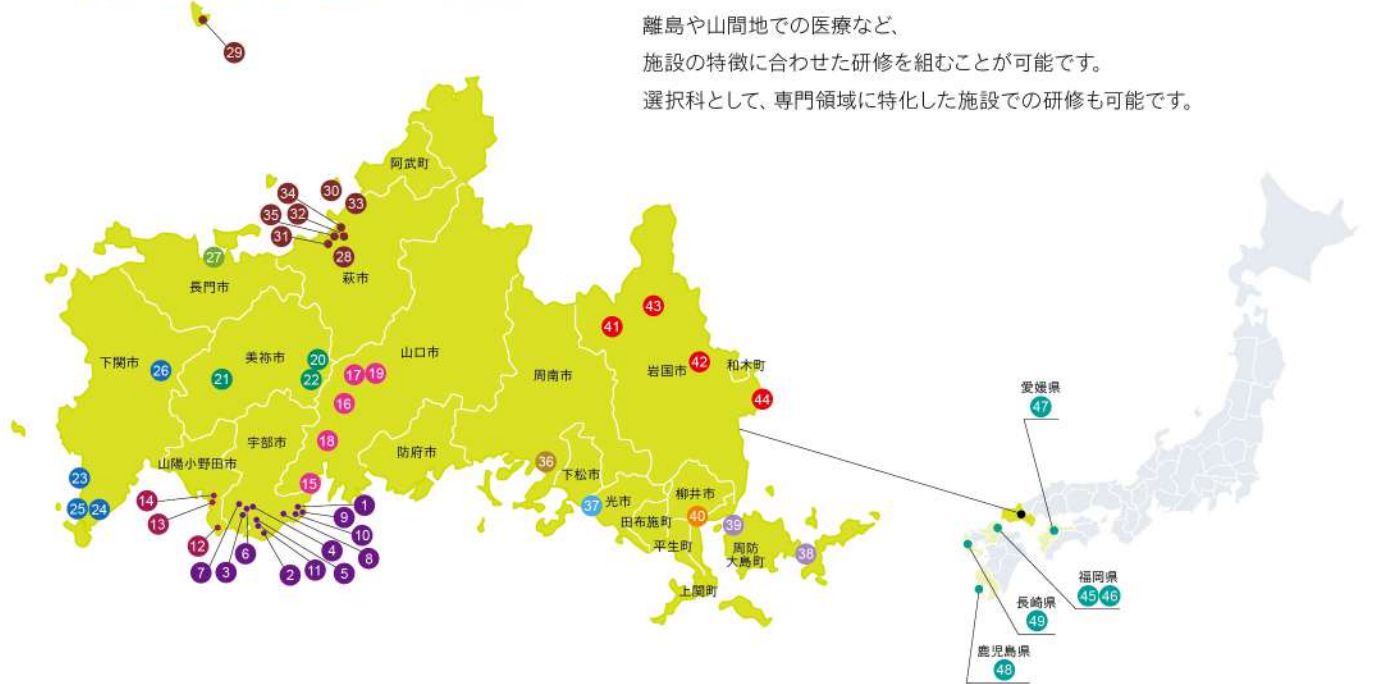
県内外の地域基幹病院が協力病院になっています。
たすき掛け研修を組むことで、
多様な疾患を幅広く経験することが可能です。
また、複数の病院を選択することができますので、
特に勉強したい内容を短期間選択して
研修することも可能です。



地図 番号	病 院 名 称	所在地	研修可能分野								
			内科	救急	地域医療	外科	小児科	産科 婦人科	精神科	麻酔科	選択科
①	宇部中央病院	宇部市	◆	◆		◆				◆	◆
②	山口宇部医療センター	宇部市	◆			◆	◆				
③	山口労災病院	山陽小野田市	◆	◆		◆	◆		◆	◆	◆
④	済生会山口総合病院	山口市	◆	◆		◆		産婦人科(個人科のみ)		◆	◆
⑤	小郡第一総合病院	山口市	◆			◆				◆	◆
⑥	山口赤十字病院	山口市	◆	◆		◆	◆	◆		◆	◆
⑦	関門医療センター	下関市	◆			◆	◆	◆	◆	◆	◆
⑧	下関市立市民病院	下関市	◆	◆		◆				◆	◆
⑨	済生会下関総合病院	下関市	◆			◆	◆	◆		◆	◆
⑩	下関医療センター	下関市	◆	◆		◆				◆	◆
⑪	済生会豊浦病院	下関市	◆		◆	◆	◆			◆	◆
⑫	山口県立総合医療センター	防府市	◆	◆		◆	◆	◆	◆	◆	◆
⑬	徳山中央病院	周南市	◆	◆		◆	◆	◆		◆	◆
⑭	周南記念病院	下松市	◆			◆					
⑮	周東総合病院	柳井市	◆			◆				◆	◆
⑯	岩国医療センター	岩国市	◆			◆					◆
⑰	萩市民病院	萩市	◆		◆	◆					◆
⑱	長門総合病院	長門市			◆	◆					◆
⑲	浜田医療センター	島根県	◆			◆	◆	◆		◆	◆
⑳	益田赤十字病院	島根県	◆			◆		◆			◆
㉑	愛媛労災病院	愛媛県	◆			◆					◆
㉒	健和会大手町病院	福岡県	◆	◆		◆		◆		◆	◆
㉓	小倉記念病院	福岡県	◆	◆						◆	◆
㉔	ハートライフ病院	沖縄県	◆	◆		◆	◆	◆		◆	◆

※県外の施設は事前に相談が必要です。

臨床研修協力施設



県内を中心に多数の協力施設があり、
地域医療研修はプライマリ・ケアを中心とした研修、
離島や山間地での医療など、
施設の特徴に合わせた研修を組むことが可能です。
選択科として、専門領域に特化した施設での研修も可能です。

地図 番号	施設名称	所在地	研 修 分 野
①	山口県立こころの医療センター	宇部市	精神科
②	宇部協立病院	宇部市	地域医療
③	宇部記念病院	宇部市	地域医療
④	フジイ内科医院	宇部市	外来
⑤	わただ内科	宇部市	地域医療
⑥	ふくたクリニック	宇部市	地域医療
⑦	厚南セントヒル病院	宇部市	地域医療
⑧	セントヒル病院	宇部市	地域医療
⑨	シーサイド病院	宇部市	地域医療
⑩	波乗りクリニック	宇部市	総合診療
⑪	尾中病院	宇部市	地域医療
⑫	小野田赤十字病院	山陽小野田市	地域医療、外来
⑬	山陽小野田市民病院	山陽小野田市	外来
⑭	生協小野田診療所	山陽小野田市	地域医療
⑮	阿知須共立病院	山口市	地域医療、外来
⑯	あんの循環器内科	山口市	地域医療
⑰	済生会山口地域ケアセンター	山口市	選択科
⑱	小郡まきはら病院	山口市	精神科
⑲	山口県赤十字血液センター	山口市	選択科
㉒	美祢市立美東病院	美祢市	地域医療
㉓	美祢市立病院	美祢市	地域医療
㉔	田代台病院	美祢市	精神科
㉕	下関病院	下関市	精神科
㉖	下関市立下関保健所	下関市	選択科
㉗	吉水内科	下関市	地域医療
㉘	下関市立豊田中央病院	下関市	地域医療

※研修協力施設、研修分野は変更になる場合があります。

地図 番号	施設名称	所在地	研 修 分 野
㉗	岡田病院	長門市	地域医療
㉘	萩市国民健康保険川上診療所	萩市	地域医療
㉙	萩市国民健康保険見島診療所	萩市	地域医療
㉚	萩市国民健康保険大島診療所	萩市	地域医療
㉛	都志見病院	萩市	地域医療、外科
㉜	中嶋クリニック	萩市	地域医療
㉝	河野医院	萩市	地域医療
㉞	わたぬきクリニック	萩市	地域医療
㉟	さがら眼科クリニック	萩市	地域医療
㊱	泉原病院	周南市	精神科
㊲	光市立光総合病院	光市	外来
㊳	周防大島町立東和病院	周防大島町	地域医療
㊴	周防大島町立大島病院	周防大島町	地域医療
㊵	柳井病院	柳井市	精神科
㊶	岩国市立錦中央病院	岩国市	地域医療
㊷	岩国市立美和病院	岩国市	地域医療
㊸	岩国市立本郷診療所	岩国市	地域医療
㊹	いしいケア・クリニック	岩国市	地域医療
㊺	北九州市立医療センター	福岡県	選択科
㊻	北九州総合病院	福岡県	選択科
㊼	愛媛県西条保健所	愛媛県	選択科
㊽	薩摩川内市下甕手打診療所	鹿児島県	地域医療
㊾	長崎県杵岐病院	長崎県	地域医療、外来

多彩な教育セミナー

基本的手技を修得し、幅広い知識を得られるよう様々なセミナーを開催しています。クリニカルスキルアップセンターにあるシミュレーターや医療機器を用いて、実践的なトレーニングができるだけでなく、各診療科でも研修医向けの教育カンファレンス、画像読影会、抄読会等が開催され、研修医による症例発表の機会も多くあります。



ICLS講習会 (心肺蘇生トレーニングコース)

突然の心肺停止などの事態に対処できる能力を身につけます。講習修了後は日本救急医学会認定の修了証が発行されます。研修医は受講が義務付けられています。



オリエンテーション

研修開始時に病院勤務に必要な基本的な事項を学びます。電子カルテの使い方、採血、注射の仕方、ルート確保の方法など、基本的な手技の実習があります。



研修医木曜セミナー

毎週木曜の昼休みに開催している研修医向けのレクチャーです。基本的な医学知識から最新の医療事情まで、多岐にわたる内容で、大学教授を含む多くの指導医陣に加え、他職種の講師も迎え、多彩なレクチャーを行っています。



CPC (臨床病理検討会)

剖検症例を詳細に検討して発表します。臨床経過を十分に検討し、問題点、疑問点を剖検結果と照らし合わせて総括します。ゲスト講師を迎えることもあり、活発な議論が展開されます。

密着

研修医の1日

研修医の1日の流れをご紹介します。



第一内科研修

2年目研修医 松本 佳祐

私は、山大のたすき掛け研修プログラムを利用し、1年次は市中病院、現在2年次を大学病院で研修しています。日々の業務や担当する症例には当然違いがあり、幅広い経験と知識を得ることができます。特に志望科が決まっていない方や、内科専攻を考えている方には非常に適した制度と考えます。



様々なイベント



WCC
(Wound Closure
Contest)

修了式

地域医療研修
発表会

辞令交付式

キャリアナビゲーション

研修を始める前に

ココが知りたい!

本学プログラムの研修医に本音を聞いてみました。



Q

山口大学のおすすめポイントは?

A

- たすき掛け研修で大学病院と市中病院のどちらの症例も経験できる
- 月単位で診療科を調整でき、研修病院、診療科、時期を自分で自由に決められる
- 1つ1つの疾患をじっくり勉強できる
- カンファレンスを通じてプレゼン力を高められる



Q

選んだ決め手は?

A

- たすき掛け研修で大学病院と市中病院の両方で学ぶことができるから
- ローテーションを自分の希望に合わせて柔軟に変更できるから
- common diseaseから難治疾患まで幅広く学べるから
- 専門研修など将来のキャリアを見据えて



Q

実際の研修は?

A

- 裁量が多く、柔軟に対応いただける
- 指導がしっかりしていて、カンファレンスの練習などでもできる
- 大学病院ならではの疾患やカンファレンスが充実している
- 色々な科を回ることができ勉強になる



Q

研修の思い出を教えてください!

A

- 初期研修のうちから手術で執刀を任せてもらえた!
- 思い切って指導医に意見してみた。
否定されるかとドキドキしたが「よく調べられている」と褒められ嬉しかった。
- 憧れのドクヘリに乗るために救急での研修を頑張った。やりがいがあるものすごくあった。
- 不安だらけで臨んだ手術、なぜそうなのかを細かくレクチャーされながらとても勉強になった。



本学プログラム 修了生の声



全方向型自由設計コース

令和7年度修了生 秋本 紘伸

山口大学を選んだ理由

たすき掛け研修の制度があり、市中病院と大学病院の「いいとこ取り」ができる点に魅力を感じました。また、研修する診療科や期間を自分の希望に合わせて柔軟に選択・変更できるため、納得のいくローテーションが組めることも大きな決め手でした。

初期研修を終えて

市中病院では救急対応や幅広い疾患の初期対応を数多く経験し、実践的な臨床スキルを磨くことができました。一方、大学病院では、複雑な病態に対する論理的な思考や、専門的・ガイドラインに沿った標準的な治療プロセスをじっくり学ぶことができ、医師としての確かな土台が固まったと感じています。

医学生へのメッセージ

希望に沿って自由度高くプログラムを設計できるため、将来の志望科が決まっている方にはもちろん、研修の中で様々な科を見てから進路を決めたい方にも非常におすすめです。市中と大学の両面から学べる恵まれた環境で、皆さんが充実した研修生活を送れるよう応援しています。



小児科・産科婦人科・周産期コース

令和6年度修了生 高木 智子

山口大学を選んだ理由

産婦人科に入学することを決めていたため、産婦人科領域をより多く学ぶことができる周産期コースで研修することを決めました。

初期研修を終えて

たすき掛けで1年間市中病院で働き、救急当直や産婦人科以外の他科について、学ばせていただくことができました。また、1年間一緒に働いたことで同期と一緒に働く楽しさも経験できました。一方で大学では新生児科での研修を行ったり、産婦人科について専門的に学ぶことができ、上級医の先生方と関係性を築くことができた良い2年間だったと思います。

医学生へのメッセージ

自分の好きな研修を組むことができるので希望する診療科が決まっている人や逆に全く決められていない人にも大学での研修はおすすめだと思います。地域医療実習では県外の病院で研修したりすることもでき充実した研修生活を送ることができます。充実した研修生活を送ることができるように応援しています。



You Tube
「研修医の1日」公開中!

山口大学病院チャンネルにて、
高木先生のNICUでの実際の研修に密着した動画を配信中!
QRコードからリアルな日常をぜひチェックしてみてください。



第一内科（消化管内科、肝臓内科、胆道膵臓内科）

オンリーワンの消化器内科医を育成する

当科では消化器疾患全般を対象に、高度な専門知識・技術と情熱をもった専門医が診療を行い、消化器領域の最先端の検査・治療の提供のほか、新たな診断法や治療法の研究開発にも力を入れています。

＜研修目標＞

研修期間中は指導医と共に入院患者を受け持ち、診察・診断から治療に至る一連の診療を行います。一般内科医としての基本的な診療技術（病歴聴取、診察、理学所見など）はもちろん、基本的な腹部超音波検査や上部消化管内視鏡検査や、より高度なERCPや腹部血管造影などの手技・診断能力を習得することができ、ひろく専門医資格を取得することができます。このように将来消化器内科医を目指す方から地域医療やプライマリケアなど一般内科医としてのスキルを身につけたい方まで、充実した研修が可能です。

先輩の声



令和3年卒 田中 康行

第一内科では、肝臓・胆膵・消化管疾患を幅広く経験できます。内視鏡検査や超音波検査、血管造影検査など、さまざまな手技に触れる機会も多く、研修を通して自分の興味のある分野を見つけ、深めていけることが魅力だと感じています。大学病院では、それぞれの分野を専門とする先生方の指導のもと、一般的な消化器疾患から高度な専門医療まで経験でき、日々少しずつ成長を実感できます。消化器内科に興味のある方は、ぜひ第一内科と一緒に研修しましょう！

1週間のスケジュール

Mon	内視鏡検査・治療 腹部血管造影検査
Tue	消化器診療、内視鏡診療、ERCP 新患カンファ・教授回診 肝臓カンファ
Wed	ERCP 内視鏡検査・治療 ERCPカンファ
Thu	腹部超音波検査 内視鏡検査・治療 消化管カンファ
Fri	腹部超音波検査 内視鏡検査・治療 腹部血管造影検査

当直は指導医とともに
行うことが可能です

第二内科（循環器内科、腎臓・高血圧内科、膠原病内科）

3科の緊密な連携と豊富な症例で、 全身を俯瞰する総合内科医へ

当科では、循環器・腎臓・膠原病の各領域において最新技術を用いた高度先進医療を提供しています。循環器領域における24時間体制の救急診療と低侵襲カテーテル治療に加え、腎臓領域では県内最後の砦として難治性疾患の個別化治療を実施しています。さらに令和8年開設の「膠原病センター」を核とした最先端診療も展開しています。

＜研修目標＞

3領域の典型例や重症例を担当し、超急性期から慢性期の診断法・治療法を学びます。重症心疾患や難治性不整脈に対する最新技術を用いた高度救急医療、腎生検に基づく免疫抑制療法、最新の知見を用いた膠原病治療にチームで取り組みます。3科の強力な協力体制のもと、全身の病態を総合的に俯瞰できる優れた臨床医としてのスキルを体系的に身につけます。

先輩の声



令和5年卒 松原 奈穂

循環器病・腎臓病を基礎疾患に持つ患者さんは多く、また膠原病は循環器・腎臓との関連も強い領域です。この3領域が揃う当科では豊富な症例を通じて、病歴と身体所見や検査所見から病態を考える力は勿論のこと、全身管理や研修医期間に身につけたい救急初期対応についても上級医の先生方が手厚く指導してくださいます。志望科を問わず当科での経験は今後の診療に役立つこと間違いありません。是非当科の研修にいらしてください。

1週間のスケジュール

Mon	不整脈カンファ 心エコーカンファ
Tue	カルテカンファ・教授回診 各種カンファレンス (多職種・心カテ・腎膠原病、透析) 構造的心疾患カテーテル治療 腎生検（水も）
Wed	心カテ・PCI（毎日） 負荷RI・CPX MDCT・心臓MRIカンファ 経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI) 膠原病内科・新患外来
Thu	EPS検査・アブレーション（水以外） 島根大学合同 腎臓症例検討会

当直は指導医と共に
行うことが可能です。

第三内科（血液内科、糖尿病・内分泌内科）

サイエンスとヒューマニティの 融合した診療を実践

糖尿病を中心とする内分泌代謝疾患並びに造血器腫瘍を中心とする血液疾患を診療しています。糖尿病診療では個々の患者さんの病態の追求と同時に多職種と協働して多方面からの支援を行うチーム医療を実践しています。血液疾患の診療では、一般的な化学療法のみならず同種造血幹細胞移植やCAR-T細胞療法といった当院ならではの治療の経験を通じて合併症の対処や全身管理について学ぶことができます。

＜研修目標＞

糖尿病代謝内分泌並びに血液疾患に対する内科医としての基本的な診療技能の習得を目標とします。血糖コントロールの基礎や内分泌負荷試験、化学療法や防護環境管理、輸血療法などを学ぶことができます。また、多職種との連携のためのコミュニケーションスキルやプレゼンテーションスキルについて実践的に身につけます。

先輩の声



令和6年卒 鬼武 亮輔

内分泌代謝、血液疾患の専門性に加え、全身を診る内科医としての基礎を学ぶ指導が行われています。チーム制で入院診療を行っており、若手医師や指導医と共に幅広い知識や経験を学ぶことができます。糖尿病診療や代謝疾患の病態理解、抗がん剤・抗がん剤の使い方など、どの診療科でも財産となる内科の基礎を習得しませんか？内分泌代謝、血液疾患診療の魅力についても実際の診療を通して触れていただけたと思います。多くの先生方と一緒に診療できることを楽しみにしています！

1週間のスケジュール

Mon	ランチタイムミーティング
Tue	カルテカンファ 教授回診
Wed	移植カンファ
Thu	病棟業務
Fri	糖尿病多職種合同カンファ 血液新患カンファ 内分泌代謝疾患カンファ

当直は指導医と共に
行うことが可能です。

脳神経内科

一流のneurologistを育てる

当教室では世界に通じる一流のneurologistを育てることを第一の理念としています。それぞれの医師を優れた臨床家、研究者、教育者として第一級レベルの教室に発展できるものと考えています。臨床研修は医師としての基礎をつくる重要な時期であり、内科系医師・神経系に携わる医師すべては、基本的な神経内科的診察・思考方式を身につける必要があると考え、教育を実践しています。

＜研修目標＞

脳神経内科を1～2ヶ月行うことによる目標・ゴールは以下のとおりです。①基本的な神経診察方法を身につけ、正しい神経所見が得られる。②神経診察の結果を正しく解釈し、病変部位を確定し、鑑別診断を列挙できる。③代表的な神経疾患に関する基本的知識を身につける。④髄液検査を単独で行うことができ、検査結果を解釈できる。

先輩の声



平成29年卒 山中 菜々美

研修医になってまずできるようになりたい事は救急対応だと思っています。かけ離れているように思われるかもしれませんが、脳神経内科は一般身体所見や神経学的所見と病歴を元に鑑別診断を考え、正しいアセスメントをするという点で、救急外来で最も重要な考え方が学べます。また、難しい、治らないと思われていた神経内科のイメージはもう古く、たくさんの治療可能な疾患が増えてきています。なんでも相談でき教えてくれる師匠が多い当科で、実践を通じて論理的な思考力や診察の技術力を学びましょう！

1週間のスケジュール

Mon	病理カンファ 電気生理カンファ
Tue	病棟カンファ、回診 症例検討会 病理カンファ
Wed	病棟業務
Thu	病棟業務
Fri	病棟業務

当直は指導医と共に月3回
行います。希望者は外来研修を
受けることも可能です。

呼吸器・感染症内科

診療の基本を身につけよう

当科は、平成27年7月に開設されました。私たちは肺炎・結核などの感染性疾患、喘息・COPDなどの閉塞性肺疾患、間質性肺炎などのびまん性肺疾患、さらには肺癌をはじめとする腫瘍性疾患、肺循環障害、呼吸不全など、広範かつ多岐にわたる疾患を診療します。

＜研修目標＞

呼吸器領域における高度な医療を提供する礎となる臨床研究や基礎研究を推進します。専門的で総合的な診療の指導を行います。集学的治療のために関連する診療科と合同カンファレンスを行い、最新で最適な医療を提供します。診断や治療の知識を統合し、「体系的に考える力を有する医師」すなわち「総合的な診療能力を有する呼吸器内科医」の育成を目指します。

先輩の声



令和4年卒 綿田 誠

最初は「呼吸器＝肺」というイメージでしたが、実際に研修してみると、急性期から慢性期、良性疾病から悪性腫瘍まで、非常に幅広い疾患を診る診療科だと感じました。感染症、膠原病、循環器疾患など、全身とのつながりを考えながら診療する場面も多く、内科全体の力を身につけることができると感じます。当科は開設10年目の若い診療科ですが、その分、指導医や先輩医師のサポートが手厚く、疑問に思ったことをすぐに相談できる雰囲気があります。気軽に質問でき、安心して研修できる環境も、当科の大きな魅力だと思います。

1週間のスケジュール

Mon	病棟診療 気管支鏡検査
Tue	病棟診療 抄読会 症例カンファレンス
Wed	病棟診療 気管支鏡検査 胸部カンファレンス
Thu	病棟診療
Fri	病棟診療 気管支鏡検査

当直は月3回行います（指導医に相談しながら）。
週に1回の外病院勤務（外来業務）、
週に約2回の救急PHS当番があります。

精神科神経科（精神科神経科・心療内科）

幅広い精神科臨床と専門的治療を学ぶ

当科では、児童思春期から老年期まで、統合失調症、うつ病、双極症、不安症、摂食症、認知症疾患、神経発達症など幅広い精神疾患を診療しています。外来では一般診療に加え、児童思春期、摂食症、認知症の専門外来を行っています。病棟では急性期治療、身体合併症を有する患者さんの治療、摂食症の入院治療、認知機能検査入院などを行い、修正型電気けいれん療法(mECT)や反復経頭蓋磁気刺激療法(rTMS)も実施しています。

＜研修目標＞

精神科初期研修では、精神症状の評価、精神医学的面接、病歴聴取、精神医学的現在症の記載を学びます。入院診療、外来予診、リエゾン診療、カンファレンスを通じて、主要な精神疾患の診断と治療方針、多職種連携の基本を身につけることを目標とします。患者さんの心理社会的背景を理解し、生活を含めて支援する視点も重視します。

先輩の声



令和3年卒 原 佳那子

精神科は少し特殊な診療科と思われがちですが、精神症状だけでなく器質的要因との相関や心理社会的な要素も評価しバランスよく介入していくような、実は総合的な力が養われます。どんな方でどんな人生を過ごしてきたのだろうか、と興味を持って患者さんに接するところから、精神科の診療はスタートします。同じ診断名でも患者さんそれぞれの背景によって治療アプローチは多様で、精神科の難しきもあり、奥深く面白いと感じます。近年では発達障害を初めとした精神科領域の一般への普及も相まって、幅広い年代で精神科の需要が高まっています。当科の優しくあたたかく個性的な先生方のご指導のもと、ぜひ皆さん一緒に学んでいきましょう！

1週間のスケジュール

Mon	多職種カンファ カンファレンス 論文抄読会
Tue	電気けいれん療法 緩和ケア回診 リエゾンカンファ／回診 小グループカンファ
Wed	小グループカンファ
Thu	小グループカンファ
Fri	電気けいれん療法 教授回診

当直は指導医とともに
行うことが
可能です。
学外研修もあります。

小児科（小児科・アレルギー科）

すべてのこどものために

小児科は、将来を担うこどもたちを健やかに育む総合的な診療科です。小児科医は、こどもだけでなく、家族も守り、社会をみつめる幅広い視野を持ち、最先端の知識と技術に基づいた診療を提供します。

＜研修目標＞

研修の初期目標は小児一次救急の習得です。指導医のもと血液採取・血管確保・腰椎穿刺などの処置、脳波、超音波などの検査の習得と、児の年齢に応じた特徴の理解と病態による重症度を肌で感じて頂きます。同時に、小児の病歴・理学的所見のとり方・適切な検査・疾患の鑑別などを習得して頂きます。さらに、免疫・アレルギー・感染、血液・腫瘍、神経、循環器、腎、内分泌・代謝、新生児などのサブスペシャリティを意識した研修へと発展させていきます。

先輩の
声



平成28年卒 元永 貴大

小児科医は未来あるこどもたちの総合医で、新生児から思春期まで、疾患によっては成人になっても携わります。小児科は、こどもたちの成長を見守ることのできる魅力溢れる診療科です。山口大学小児科には8つの診療グループ(アレルギー・免疫・リウマチ班、血液・腫瘍班、神経班、新生児班、腎臓班、内分泌班、消化器班、循環器班)があります。全身を診る総合医の視点を身につけつつ、サブスペシャリティ領域のスキルを極めることができます。こどもたちとご家族の笑顔のために、一緒に頑張りたいです！

1週間のスケジュール

Mon	病棟採血 入院患者診察 外来処置
Tue	病棟採血、入院患者診察 外来処置 症例検討・回診、抄読会
Wed	病棟採血 入院患者診察 外来処置
Thu	病棟採血 入院患者診察 外来処置
Fri	病棟採血、入院患者診察 外来処置 症例検討
希望者には、当直業務や 夜間・休日診療所出勤などを通して 小児救急に接してもらいます。	

第一外科（心臓外科、血管外科、呼吸器外科、小児外科、消化管外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌腺外科）

卓越した診療、教育、研究により、接するすべての患者のQOLを改善するために

当科では、全ての外科疾患を診療対象としています。診療班(心臓外科・血管外科・消化器外科・呼吸器外科・小児外科)ごとにそれぞれ専門医資格を有した医師達が指導し、診療にあたっています。当科の研修では、広い領域で多くの症例を経験することができます。

＜研修目標＞

手術を受けるために、毎日多くの患者さんが当科を受診されます。担当患者の初診から手術までの流れを把握することは、病態や治療体系を考える上で重要です。手術では、術前の画像診断の結果を確認するとともに、自分の目で臓器を観察し、自分の手で臓器に触れることができます。この経験は、将来CTやエコーを読影する際、病態の把握に必ず役に立ちます。手術時には切開や縫合を、また病棟ではドレナージなどの手技を多く経験できます。これらの基本的な外科手技は、医師として身に付けておくべきものです。

先輩の
声



令和3年卒 末田 侑香

手術の助手や執刀だけでなく、術前評価や治療方針の検討、術後管理まで幅広く学んでいます。また当科には心臓・血管・消化器・呼吸器・小児など各分野の専門医がおり、それぞれの専門性を学びながら、外科医として全身を診る力を養うことができます。多くの手術を経験できることに加えて、上級医の先生方から丁寧な指導をいただき、さまざまな視点に触れながら充実した毎日を過ごしています。たくさんの先生方と一緒に仕事ができるのを楽しみにしています。

1週間のスケジュール

Mon	手術症例検討会 教授回診
Tue	手術 英文抄読会
Wed	手術症例検討会 手術
Thu	病棟業務 自主学習
Fri	手術
当直業務の担当はありませんが、 希望があれば指導医と共に 当直は可能です。	

第二外科（消化管外科、肝・胆・膵外科、乳腺・内分泌腺外科）

高度先進医療の推進・開発をになう基盤を築く

当科は、消化器外科と乳腺・内分泌外科領域において、先進医療を推進し、QOL維持を含めた“患者さんにとって満足度の高い”医療を提供しています。そして、外科手術を基軸に治療成績の向上を目的として、専門技術と知識の習得に努め、高度医療を施行し、この地域のみならず国民の医療に貢献することを診療理念としています。

＜研修目標＞

1年目は基本的な診療能力を身に付け、結紮や縫合手技、中心静脈確保、腹腔・胸腔穿刺など基本的な外科手技を習得します。2年目は基本的診療能力向上に加えて、消化器癌や乳癌などの手術助手や術後管理を行います。急性腹症の診断、初期治療を行い虫垂炎、胆石症、イレウス、ヘルニアなどの良性疾患を執刀医として経験します。Clinical Cadaver Surgical Training (CCST), Surgical Training Seminar (STS)やWound Closure Contest(WCC)にも参加することが可能です。

先輩の
声



平成30年卒 鈴木 有十夢 平成28年卒 西田 裕紀

当科では各臓器別グループに分かれて、主にがん治療に関して専門性の高い治療を行っています。手術に関しては最先端のロボット手術を含め、各領域で低侵襲かつ質の高い手術を提供しています。研修では手術だけでなく初診・カンファレンス・手術・術後管理の流れを経験できたため、手術対象となる疾患に対して理解が深まり外科の面白さを味わうことができます。また、縫合や結紮に留まらず鼠径ヘルニア修復術や腹腔鏡下胆嚢摘出術などの執刀を経験することができ、外科医として覚悟することができるかもしれません。ベテランから若手まで気さくながら熱心に指導してくれるため充実した研修を送ることができるといえます。ぜひ第二外科での研修を検討してみてください。

1週間のスケジュール

Mon	手術 病棟業務
Tue	カンファレンス 外来、検査
Wed	手術 病棟業務
Thu	手術 病棟業務
Fri	カンファレンス 教授回診 外来、検査
当直業務はありません。	

整形外科（整形外科・リウマチ科）

“Life is moving”

整形外科は、骨・関節・脊椎・筋肉・靱帯・神経など、人体の「動き」を支える運動器を対象とする診療科です。外傷やスポーツ障害、加齢による変性疾患、骨粗鬆症、関節リウマチまで幅広い疾患を扱い、痛みの改善だけでなく、「歩く」「動く」「働く」といった日常生活機能の回復を目指します。近年は高齢化の進行に伴い、運動器医療の重要性はさらに高まっています。

＜研修目標＞

- ①運動器疾患の基本的診察、
外傷初期対応および基本手技を理解する。
- ②多職種と連携し、患者中心の医療を実践する。
- ③画像診断(X線・CT・MR・ブロック)の基礎を学ぶ。
- ④保存治療と手術治療の適応を理解する。
- ⑤スポーツ・リウマチ・リハビリテーションなど幅広い分野を経験する。
- ⑥最新技術を用いた治療に触れ、整形外科医療の発展を学ぶ。
- ⑦患者の早期社会復帰を支援する姿勢を身につける。

先輩の
声



令和3年卒 清水 雅大

整形外科は子供から高齢者まで全身の運動器(骨、関節、筋肉など)疾患を対象とする幅広い領域を持った診療科です。山口大学病院にはそれぞれの分野のスペシャリストの先生が在籍しており、研修を通して、専門的で洗練された知識、技術を学ぶことができます。また週に1度モーニングセミナーがあり、1年間を通して、すべての領域の基本的な知識、最新の知見について系統的に学ぶことができます。日々の診療でも疑問に感じたことや、困ったことなどがある際には上級医の先生に相談すると、いつも優しく、熱心にご指導いただけるため、充実した研修生活過ごすことができます。万全のサポート体制のもとで、一緒に整形外科医として頑張りたいです！

1週間のスケジュール

Mon	外傷カンファレンス 外来・手術 脊椎カンファレンス 手外科・骨軟部腫瘍抄読会
Tue	教授回診 リサーチカンファレンス 外来・検査・手術 症例検討会
Wed	関節カンファレンス 外来・手術
Thu	モーニングセミナー 手外科・骨軟部腫瘍カンファレンス 外来・検査・手術
Fri	外来診療
当直業務は指導医と共に 行うことが可能です。	

皮膚科

優れた医術を実践できる経験を伴った叡智を身につけた医療人を育成する

皮膚科疾患は、湿疹・皮膚炎、水疱症、乾癬、膠原病、母斑症、皮膚悪性腫瘍、熱傷など、きわめて多種多様で、地域医療の拠点として外来・入院はいうまでもなく臨床研修や研究も精力的に行っています。

＜研修目標＞

大学病院ならではの難治性で診断が非常に困難な症例と、皮膚科のいわゆるcommon diseaseを、ともに数多く経験することによって皮膚疾患の実態に触れることを目標とします。様々な鑑別すべき疾患の中から、臨床像と病理組織所見をもとに、正しい診断に至るまでのプロセスを経験します。また、皮膚科的検査及び手術に積極的に参加して、診療技術を習得します。

先輩の
声



令和3年卒 青木 裕宇希 令和3年卒 山田 真理子

日々の診療で困ったことや判断に迷う場面でも、すぐに上級医へ相談できます。先生方は優しく話しやすい方ばかりで、安心して診療に取り組める環境です。まだまだ学ぶことはたくさんありますが、幅広い皮膚疾患を経験できる毎日に大きな魅力を感じています。山口大学皮膚科で、一緒に楽しく学びながら成長していきましょう！

1週間のスケジュール

Mon	外来 病棟業務
Tue	外来 病棟業務 カンファレンス
Wed	外来 病棟業務 手術
Thu	外来 病棟業務
Fri	外来 病棟業務 手術
当直業務はありません。 休日の処置は上級医とともに 行います。	

形成外科

ArtとScienceの融合 美しく外科技術を究める

形成外科は、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、患者のQOLの向上に貢献する外科系の基本診療科です。先天異常や、外傷や腫瘍によるあらゆる体表面の変形・欠損を治療対象とします。整容面においてもより高度な結果が求められる時代になり、その需要は年々高まっています。

＜研修目標＞

手術が主役の診療科です。まず、外科手技の基本とも言える“皮膚をきれいに縫う”訓練をします。外傷の縫合、皮膚良性腫瘍切除術、植皮術などの基本的手技を学んだ後、顔面骨骨折整復術や皮膚悪性腫瘍切除術、各種有茎皮弁による再建術、さらにはマイクロサージャリーによる遊離組織移植など、より高度な技術・知識の習得を指導します。病棟においては創傷管理について学びます。

先輩の
声



令和6年卒 高田 明秀

現在、当科は学内4人と学外1人の計5人で診療を行っています。当科は、皮膚腫瘍や頭頸部・乳房再建、難治性潰瘍、外傷、先天性疾患など非常に幅広い領域を扱う診療科であり、形態と機能の両面から患者様のQOL向上に関わることができます。少人数でありながら、症例の内容と数が非常に豊富なため、専攻医1年目から早々に多くの手術経験を積むことができます。上の先生方がとても優しいのも当科の大きな魅力です。少しでも興味がある方はぜひ一度見学にいらしてください。

1週間のスケジュール

Mon	午前： 外来 午後： 局麻手術 カンファレンス
Tue	午前： 外来 午後： 局麻手術
Wed	午前： 外来 午後： 全麻手術
Thu	午前： 外来 午後： 全麻手術
Fri	一日全麻手術
病棟業務は適宜行います。 不定期に他科再建手術があります。 当直はありません。	

泌尿器科

小児から高齢者まで、QOLを重視した治療を実践します

高齢者人口の急速な増加に伴い、前立腺癌をはじめとする尿路性器悪性腫瘍や尿失禁などの排尿障害患者の増加が顕著となりつつあり、泌尿器科領域の研修は専門医を目指す医師のみならずプライマリ・ケアや他科をめざす医師にとってもますます重要となっています。当科は尿路性器悪性腫瘍、腎不全、男性不妊症・小児泌尿器科を3本柱とし、地域医療を担う泌尿器科医の養成はもちろん臨床の素朴な疑問に根差したbed side-orientedな基礎研究も精力的におこない、世界に情報発信できる若手医師の育成を主眼に置いています。

＜研修目標＞

当科プログラムの目的は将来どのような診療科に進むにも、日常診療において遭遇する泌尿器科的疾患や病態に適切に対応できるような基本的な泌尿器科の臨床能力(態度、技能、知識)を身につけることです。また将来、泌尿器科専門医を目指す研修医は必要な専門的臨床能力はもちろん、泌尿器科専門医にとって重要な考え方なども修得します。

先輩の声



令和5年卒 塚本 大雅

泌尿器科で扱う疾患は診断から治療、その後もで患者さんと向き合うことが多く、その奥深さややりがいを感じています。排尿障害などのQOL疾患や腫瘍に対して手術や化学療法、腎不全の方に移植を含めた腎代替療法と幅広い分野に携わることが出来ます。医局全体の雰囲気も良く、チームで相談しながら診療を行っています。興味がある方はぜひ、当科に見学、研修にいらしてください。

1週間のスケジュール

Mon	病棟診療 外来補助 検査
Tue	抄読会、ビデオカンファレンス 手術、病棟診療、外来補助、検査 手術カンファレンス
Wed	入退院カンファレンス 病棟教授週診 病棟診療、外来補助、検査
Thu	手術、病棟診療、外来補助、検査 Drug information カンファレンス
Fri	手術、病棟診療 外来補助 検査

当直業務はありません。

眼科

山口大眼科で眼のSpecialistを目指す！

外界から受け取る情報のうち、80％は視覚情報と言われています。眼疾患を患っている患者さんは、質の高い生活が送れません。より多くの患者さんに良好な視機能を届け、幸せな生活を送っていただけるよう、私たちは高い志を持ち日々の診療や研究に励んでいます。眼科は、診断から治療(内科的治療、外科的治療)まで、自科で完結できる数少ない科の一つです。ぜひ研修期間で眼科を選択し、将来眼科医となって一緒に仕事をしましょう。

＜研修目標＞

当科の研修では眼科プライマリケアに欠かせない疾患を中心に、診断や治療効果の判断に必要な眼科の基本検査と診察・治療に必要な手技を習得することを目標としています。また、全身疾患に関連した眼疾患や眼科の救急疾患についても適切に対応できるよう研修を行います。手術室での研修も多く取り入れ、眼科手術で特徴的なマイクロサージェリーを習得できるように指導します。

先輩の声

平成31年卒 竹中 優嘉

眼球は24mm程度と小さいながらも精密で複雑な、大変魅力的な臓器です。眼球以外にも眼瞼や眼窩、涙道疾患など多岐に渡り、新生児から高齢者まで、QOLに深く関わる診療科の一つです。是非眼科の研修を選択して眼の美しさに触れてください！

1週間のスケジュール

Mon	手術 病棟診療
Tue	教授外来 回診 カンファレンス
Wed	外来診療 検査又は手術
Thu	外来診療 検査
Fri	外来診療 検査又は手術

当直業務はありません。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

厳しく学び、楽しめる教室を目指します

当院耳鼻咽喉科は、内耳・中耳を扱う感覚器外科学、鼻科手術、頭頸部癌手術、睡眠時無呼吸に対する治療、音声・嚥下障害に対する治療も全国的に注目される存在です。このように、各専門分野で大きく発展した根底には、当講座の理念である、「嫌いなことは無理強いしない。好きなことを自由にやらせてモチベーションを高く維持して業績を出す。」という方針が功を奏しているものと考えています。

＜研修目標＞

耳鼻咽喉科内の各グループをローテートすることで、全般的な耳鼻咽喉科診療に従事できる知識と技能を修得することを目標とします。さらに、自分で考えて問題点を発見して自分で解決する姿勢を重要と考え、そのような思考・行動がとれる能力を身につけるための研修をします。

先輩の声



令和6年卒 綿貫 永二郎

私は耳鼻咽喉科が扱う領域の幅広さと、診断から治療まで一貫して携われる点に魅力を感じ、入局を決めました。顕微鏡を用いた繊細な手術から内視鏡手術、頭頸部手術まで多彩な手技を経験できます。また、聴覚・嗅覚・味覚といった感覚器を扱い、患者さんのQOL向上に直接貢献できることも大きなやりがいです。内科的診療と外科的技術の両方を学べる魅力的な診療科です。皆さんもぜひ当科に見学や研修にお越しください！

1週間のスケジュール

Mon	モーニングカンファレンス 病棟処置又は外来診療
Tue	手術又は外来診療
Wed	モーニングカンファレンス 手術又は外来診療
Thu	手術又は外来診療
Fri	モーニングカンファレンス 病棟処置又は外来診療

当直業務の義務はありません。
土日の病棟業務は指導医と共に行います。

放射線科

最先端の画像診断からIVRによる低侵襲治療まで

画像診断:研修医みなさんの希望に応じて、Generalな急性期の画像診断を広く研鑽したり、頭部・胸部・腹部・骨軟部などの専門に特化した画像診断を修得したりするなど、いろいろな選択肢があります。

Interventional Radiology (IVR):診断から治療、血管系から非血管系IVRまで幅広く行っており、希望者は助手(症例によっては術者)として参加できます。

放射線科の紹介動画も公開しています。見てね！

「放射線科の一日」(<https://youtu.be/ampSbFdffdM>)

＜研修目標＞

①胸部単純X線写真、CT、MRIなど、どの専門分野に進んでも必要な画像診断を身につける。②当直で必要な急性期疾患の診断ができる。③診断から治療に至るまでの考え方を習得する。

先輩の声



平成31年卒 井上 敦夫

現代の医療では多くの分野で画像診断が必要不可欠であり、放射線科では読影を通じて全身の様々な疾患を経験することができます。また、当科ではIVRにも積極的に取り組んでおり、若いうちから多くの症例を経験することができます。私自身も初期研修で放射線科をローテートした際にIVRの魅力や奥深さに感銘を受け入局を決めました。皆さんもぜひ見学・研修にいらしてください。

1週間のスケジュール

Mon	画像診断
Tue	画像診断、IVR
Wed	IVR、カンファレンス
Thu	画像診断
Fri	画像診断、カンファレンス

当直業務はありません。

放射線治療科

最先端のがん治療を担う人材に

放射線治療を専門として独立した、新しい診療科です。放射線治療は手術療法、化学療法とともに、がん治療の3本柱の一つです。最先端の「低侵襲治療」として、需要はますます増加しています。当科では定位放射線治療や強度変調放射線治療(IMRT)など、痛みや副作用の少ない先進的な治療に取り組んでいます。

＜研修目標＞

どの専門分野に進もうとも、悪性疾患を対象とする限り放射線治療に関する基礎知識は必要です。放射線治療を少しでも勉強しておくことは、今後のみなさんにとって非常に有益です。治療の適応判断から治療計画の方法、治療後の経過などを総合的に理解できるよう研修を行います。

先輩の声



平成27年卒 梶間 未葵

放射線治療医は、放射線治療の専門医であると共に、がん全般の広い知識を持ち各科と連携して診療を行います。放射線治療としても根治から緩和まで治療介入すべきところは多く、治療期間中だけでなく治療後も患者さんと関わっていきます。若手医師も増えてきていますので、ぜひ一度当科に来てください！

1週間のスケジュール

Mon	チームカンファ、外来(新患) Cancer Board(頭頸部) 症例検討会
Tue	チームカンファ 外来(経過観察) 放射線治療計画
Wed	チームカンファ、外来(新患) Cancer Board (胸部、泌尿器)
Thu	チームカンファ 外来(経過観察) 放射線治療計画
Fri	チームカンファ、外来(新患) RALS(婦人科がん)

当直業務はありません。

産科婦人科

私たちはいつも女性の幸せを考えています

産科婦人科領域(周産期分野、婦人科悪性腫瘍分野、不妊・生殖内分泌分野、女性ヘルスケア分野)における地域の基幹病院として一般的な診療だけでなく高度な医療を提供し、さらには高度な医療を担う世界レベルの基礎研究を推進しています。

＜研修目標＞

基本的な産婦人科診察法、検査法(超音波検査、細胞診、病理組織検査、骨盤部CT・MRIなど)、治療法(内科的治療及び外科的治療)を習得することができます。正常分娩はもちろん産科及び婦人科の救急患者の対応を学び、各種手術の助手を行いながら修練を積みます。非侵襲的な検査法である超音波検査も実際に多くの症例に対し行うように指導しています。基本的にはマンツーマン指導を行っています。実際には症例の偏りなども考慮して、各グループのいろいろな先生と一緒に症例を担当します。

先輩の声



平成29年卒 中村 真由子

産婦人科は周産期分野、生殖内分泌分野、婦人科腫瘍分野、女性ヘルスケア分野と幅広く診療ができる科です。特に周産期分野では、赤ちゃんが生まれてくる瞬間の感動をお母さんと共有することができる唯一の分野であり、非常に大きな充実感があります。また手術も多岐に渡りますが、上級医の指導の元で早期から多くを経験させていただいています。是非、一緒に充実した研修生活を送りましょう！

1週間のスケジュール

Mon	手術
Tue	外来 回診カンファレンス
Wed	手術
Thu	外来 手術
Fri	外来 カンファレンス

当直は週1回程度、
指導医と共に行います。

麻酔科蘇生科（麻酔科蘇生科、ペインクリニック）

基本的な手技が学べる麻酔科研修

シミュレーターや年間6000例の麻酔管理症例を通じて、気管挿管、静脈ルート確保、動脈採血、腰椎穿刺、中心静脈ルート確保など医師として身につけておきたい手技を手厚い指導の下修練することが出来ます。麻酔科研修は全身状態の把握、循環・呼吸管理、疼痛管理を学び、全身管理の基礎を習得できると思います。希望に応じて集中治療、ペインクリニック、緩和ケア研修も可能で、様々な診療科の最先端の治療を身近で経験でき、患者目線での症状緩和を目指した全人的医療を研修することが出来ます。

＜研修目標＞

手術麻酔を通じて、全身状態の評価、術中管理（麻酔薬調整、循環・呼吸管理、疼痛管理）、術後管理、基本手技の修得を目指します。集中治療では重症患者管理（高侵襲術後患者も含む）やペインクリニック・緩和ケアでは、様々な鎮痛薬投与、神経ブロック治療を学びます。

先輩の
声

令和5年度卒 中藤 亜実

大学病院は先輩医師が多いので、色々な手技や麻酔管理のコツを教えてもらう機会が多いです。市中病院では行っていない最先端手術の麻酔管理も経験できます。ローテーションで集中治療やペインクリニックも研修するので、広く色々なことを学ぶことが出来ます。定期的に懇親会があるのでとても楽しいです。

1週間のスケジュール

Mon	手術麻酔
Tue	手術麻酔
Wed	手術麻酔
Thu	手術麻酔
Fri	手術麻酔
当直業務はありません。 集中治療、ペインクリニック、 緩和ケア研修も可能です。	

脳神経外科

外科医の目と技を持ち、 神経系疾患の総合医療を行います

脳神経外科は、外科医の目と技を持ち、神経系疾患の総合医療を行う医師です。専門医の役割は外科治療だけでなく、予防医学・診断・薬物/放射線治療・リハビリテーション・救急医療等、診療に関する全ての内容を含みます。

＜研修目標＞

初期研修での目標は脳卒中及び頭部外傷患者の初期対応の経験をたくさん積むことだと考えています。これらの患者さんの多くは内科的治療やカテーテル治療・外科的治療などを瞬時に判断し行う必要があり、時間との勝負であることも多く、知識はもとより経験もいるためとにかく現場で学んで欲しいと考えています。

先輩の
声

令和3年卒 実近 涼夏
脳・脊髄・神経に対し手術主体で治療する外科ですが、長期の入院管理や疾患予防の治療、復帰に至るまでのケアを考えると内科的な要素の重要性も併せ持つ診療科です。なかでも脳梗塞はこの先必ず遭遇する疾患であり他科に進む研修医にこそ診療のスピード感を研修中にみて頂きたいです。また大学病院には症例も集まり小児疾患や機能神経手術など希少な症例も経験できるため、短期間でも濃い研修ができる点は大きな魅力です。ぜひ研修を検討してみてください。待ってます。

1週間のスケジュール

Mon	症例カンファレンス 手術日（脳腫瘍）
Tue	症例カンファレンス 教授回診
Wed	症例カンファレンス 手術日（脳血管障害）
Thu	症例カンファレンス
Fri	症例カンファレンス 手術日（機能、てんかん）
予定の検査、手術に加え 急患対応が主な業務です。 当直業務はありません。	

先進救急医療センター

重症患者への全人的医療の実践

当科は3次救命救急センターとして様々な領域にわたる重症患者を全県から年間1300件を超えて受け入れています。疾患によっては他診療科とも協力しながら対応します。対応する症例は多岐にわたり、臨床研修において必要かつ十分な症例を経験できます。教育熱心な指導医のもと診療に参加し、初期診療から全身管理まで一貫した救命救急医療の研修を行っています。

＜研修目標＞

。救急患者に対する初期診療の基本的な考え方を身につけて実践できる
。集中治療を要する患者における全身管理の基本的な考え方を身につけて実践できる
。様々なスタッフと適切なコミュニケーションをとり協同して診療を行うことができる

先輩の
声

令和3年卒 友景 琢人
当センターの強みは、ドクターカー・ドクターヘリによる病前診療から、救急初療室での初期診療、集中治療室での全身管理までを救急科が一貫して行っていることです。患者さんの診療経過を現場から急性期治療が終了するまで経験できるため、救急医療の考え方や全身管理を体系的に学ぶことができます。また、他科の先生方との協力も多く、幅広い診療科の症例を経験することができます。ぜひ一度研修にお越しください。

1週間のスケジュール

Mon	症例カンファレンス 入院患者診療
Tue	症例カンファレンス 入院患者診療
Wed	症例カンファレンス 教授回診 クリニカルカンファレンス
Thu	症例カンファレンス 入院患者診療
Fri	症例カンファレンス 入院患者診療
急患対応は指導医と共に対応。 2交替制で希望により当直可。	

総合診療部

診断学の基本アプローチを学ぶ

「鑑別診断を多く挙げられるのに、臨床現場で診断をつけることができない」この経験をまず体験することから診断学は始まります。正確な診断をつけるには、症状から疾患を想起する力、患者さんから上手に情報を引き出す医療面接の力、情報をカルテにまとめる書く力、大量の情報の中から何が診断するために重要な情報であるかを推論する力、指導医にプレゼンする力が必要となります。これらの能力は、研修医になるための基本的臨床能力。総合診療部での実習期間中は、これらの能力を体系立てて養います。

＜研修目標＞

①外来研修、症例カンファレンスを通じて病歴・身体所見から適切な診断プロセス（問題リストの立て方、鑑別診断の挙げ方）が行えるようになる。
②外来研修、症例カンファレンスを通じて適切な治療方法を決定することができる。
③臨床の疑問を自ら見つけ出すことができ、それを解決する生涯学習の手段を得ることができる。

先輩の
声

指導医 黒川 典枝

皆さんは、初診外来を担当し、医療面接から診察、さらに診断・治療まで丁寧に行なった経験がありますか？診断の難しい症例に、どうアプローチしていきますか？そこから生まれた疑問をどうやって解決していきますか？こうした臨床医の体力ともいべき「基本的な能力」をじっくり育みたいと考える研修医を歓迎いたします。

1週間のスケジュール

Mon	症例カンファレンス
Tue	外来実習 診療振り返り
Wed	外来実習 診療振り返り
Thu	外来実習 診療振り返り
Fri	外来実習 診療振り返り
当直業務はありません。	

病理診断科

基礎医学を臨床へ活かし、 最終診断で最適な治療へ導く、医療の要

病理医は、採取された組織や細胞を顕微鏡で観察し、疾患の「最終診断」を下す専門医です。診断は、①尿や体腔液に出現する細胞を調べる細胞診断、②内視鏡等による生検組織診断、③手術摘出臓器の診断（進行度や転移の有無の判定）、④手術方針を決める術中迅速診断、⑤死因を究明する病理解剖の5つに大別されます。臨床医との緊密な連携プレーにより、患者さんを正しい治療へ導く医療の要として、重い責任とやりがいがあります。

＜研修目標＞

2ヶ月以上の研修で、日本病理学会が認定する「病理専門医」の基盤となる基本技術の習得を目指します。具体的には、細胞診や生検の標本観察、手術検体の肉眼評価と適切な切り出し、10分程度で手術方針を左右する術中迅速診断の立ち合い、そして死因や治療効果を究明する病理解剖（剖検）の実践を学びます。各診療科の医師や臨床検査技師と連携し、エビデンスに基づき体系的に考える力を持つ医師を育成します。

先輩の
声

指導医 荒木 亜寿香

当科では、大学病院ならではの希少症例や最新機器を用いた高度な診断、さらに大学院と連携した研究環境を提供しています。山口県では病理医が特に不足しており、皆さんは大変貴重な存在です。アットホームな雰囲気の中、指導医がマンツーマンで丁寧に指導します。臨床医と連携しながら医療を支える病理の面白さと奥深さを、当科でぜひ体感してください！

1週間のスケジュール

Mon	術中迅速診断 生検検体切り出し・抄読会
Tue	手術検体切出 皮膚科カンファレンス
Wed	組織診断業務 脳腫瘍カンファレンス 呼吸器カンファレンス
Thu	手術検体切出 リサーチミーティング
Fri	術中迅速診断 細胞診断業務
病理解剖時の依頼があれば、 解剖の立会い・介助を優先します。 また剖検所見会・病院CPCへ参加 します。当直はありません。	

専任教員からのコメント

研修医一人一人の希望を叶える最高の研修プログラムで、 充実した研修医ライフを！

センター専任教員 宮崎 睦子



はじめまして、医療人育成センターの専任教員の宮崎です。平成13年に山口大学を卒業し第三内科（血液・糖尿病・内分泌）入局、平成26年4月から医療人育成センターに配属となり、臨床研修や専門研修をコーディネートする立場として携わっています。

山口大学の研修の良さは、何と言っても大学と市中病院との「たすき掛け」プログラムです。固定したスケジュールのプログラムが多い中、研修病院の選択肢も多く、幅広い診療科から研修科と研修期間を選ぶことが出来るプログラムは山大ならではの。どの施設でどの科の研修をしたいか、皆さんの希望を出来る限り叶えます！2年間の研修が終わったときには、市中病院で1-2次救急やプライマリ・ケア研修で基本的な診療力を、大学病院で高い専門性と思考力が身についたことを実感できるはずです。

そして、研修のことや進路のこと等、皆さんが悩んだり困ったりしたときには私たちスタッフが一丸となってサポートしますので、ぜひ一緒に山口大学で働きましょう！

研修環境をサポートする施設・設備

研修医ルーム

自習や休憩、情報交換の場として快適に活用できるよう、メールボックスとモバイルワゴンを備えた個人ロッカーと共有机を完備し、病院情報システム(電子カルテ)端末、共用パソコンを設置しています。院内LANを使用して医学系オンラインツールを利用することも可能です。更衣室・当直室も備えています。また、専任教員室、事務室が近くにあり、些細なことでも気軽に相談できます。



研修医ルーム1

研修医ルーム2

クリニカルスキルアップセンター

基本的診察技術や高度な医療技術を自主的に練習できるよう、さまざまな最新の学習機材を備えた施設です。



当直室



図書館



ホスピタルカフェ



LAWSON山大病院店

地域医療教育研修センター(白翔館)

充実した研修生活を支援するために、研修医の専用施設として、平成24年春に完成しました。研修医が入居できる研修生自習室(50室)に加えて、共用施設として研修室、図書ミーティング室、談話室を備えており、本院からも徒歩3分と恵まれた立地条件です。

＜研修医の声＞

病院が近く、費用も安いのが魅力的!内装もきれいで住みやすい!

＜設備＞

照明、洗面台・洗濯機パン、独立型ユニットバス、ウォシュレット便座、ミニキッチン(IHヒーター)、ウォークインクローゼット、エアコン、モニター付インターフォン、カーテン、室内物干し支柱、テレビ端子、ネット接続口

＜使用料等＞

使用料	山口大学に勤務する研修医(山口大学職員)	0円/月
管理料	研修生自習室A	5,000円/月
	研修生自習室B 家具付き	8,000円/月
駐車料		1,000円/月

※自習室の光熱水料は、使用者の個別契約となります。
※研修生自習室B(家具付き)には、ベッド、デスク、イス、デスクライト、2ドア冷蔵庫、電子レンジ、全自動洗濯機、26インチテレビを備えています。



自習室



談話室

随時見学できます!
是非、気軽に来てください!



ヤマミイ(Yama-Me)

山口大学のシンボルマークの形とカラーリングをイメージした、「自由さ」「好奇心」「柔軟性」を持ったネコをモチーフとして作成されたキャラクターです。

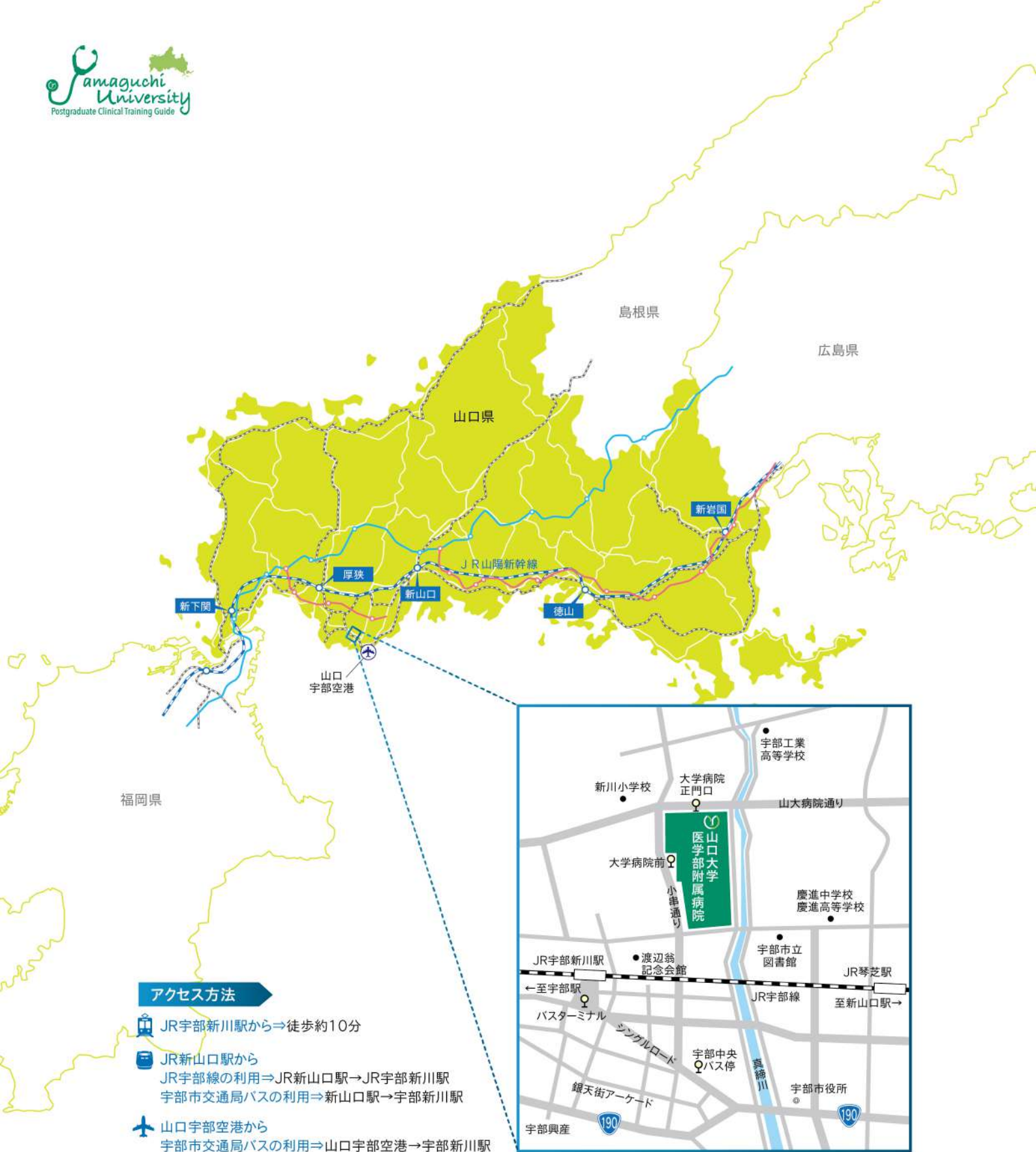
山口大学医学部附属病院 病院見学について

対象	医学生
申込方法	見学を希望する日(土日祝日を除く)の14日前までに、ホームページの申込フォームをご利用ください。 ※見学希望の診療科と日程を調整し、後日詳細をご連絡します。
お問い合わせ	医学部総務課医師育成支援係(研修医・専門医支援部門) 〈TEL〉0836-22-2129 〈Mail〉me209@yamaguchi-u.ac.jp 〈HP〉山口大学医学部附属病院医療人育成センター https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~cdc/



＜勤務時間や給料等の待遇について＞

● 勤務時間	8時30分～17時15分	● 医師賠償責任保険	病院として加入 (個人加入分についても臨床研修期間中は大学負担)
● 給与	約43万円/月 ※臨床研修手当14万円を含みます。 ※協力病院での研修期間は、研修先の処遇となります。	● 宿舍	地域医療教育研修センター(白翔館)
● 諸手当	住居手当、通勤手当(通勤距離2キロ以上の場合)	● 学会参加	可
● 保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険	● 山口大学医師会の会費無料	



山口大学医学部附属病院 医療人育成センター

〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1 【TEL】0836-22-2129 【E-mail】me209@yamaguchi-u.ac.jp

Q 医療人育成センター

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~cdc/>

